

平成29年度市民公開講座
「やさしい肝臓病のお話し」活動報告

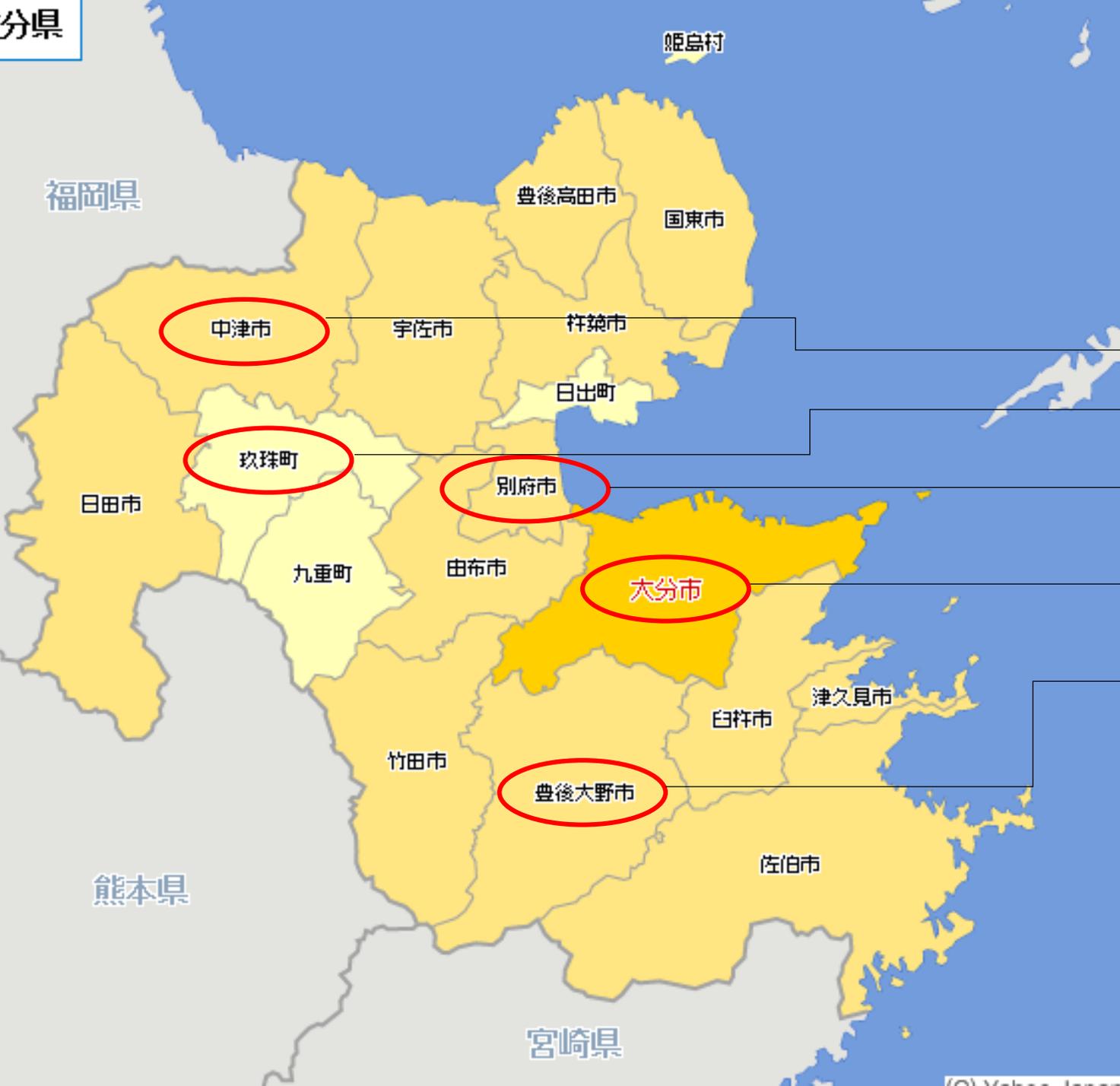
大分大学 消化器内科 織部淳哉

はじめに

平成15年から肝疾患の啓発のため市民公開講座を開催してきた。総参加者数はのべ10870人を達成した。

平成29年度の市民公開講座は大分県5か所の地区で行い、講座開催の結果を報告する。

2017年度 肝臓学会市民公開 講座日程



6/17

7/15

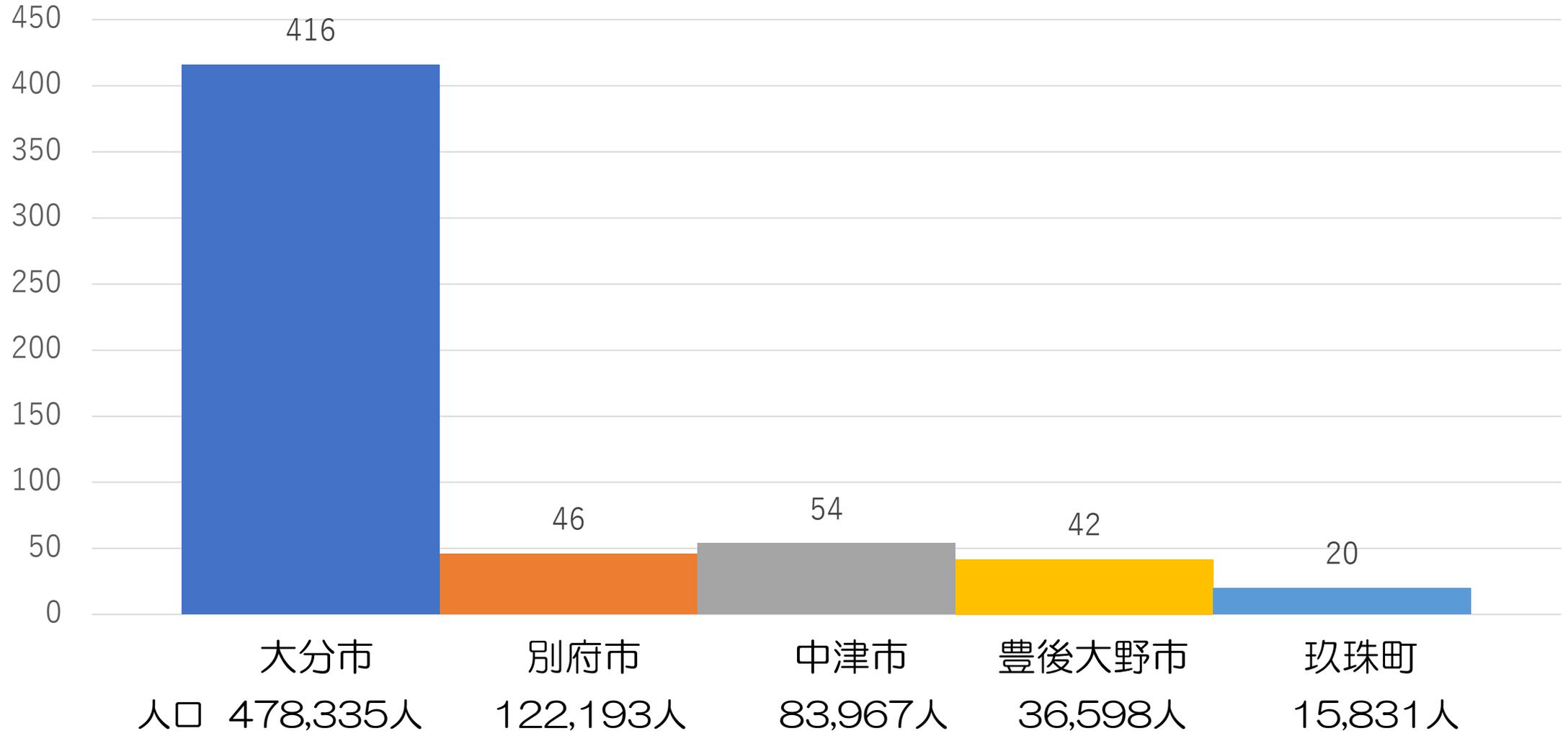
6/24

7/8

8/5

全参加人数	578人
アンケート回答者数	375人
男性	136人
女性	238人

各市民講座参加人数の内訳



アンケートの集計結果

5か所の開催地区でそれぞれ参加者へアンケートを行った。
はじめに各地区の開催状況を、次に全地区のアンケートの集計結果を報告する。

大分市

参加者416名
アンケート回答273名

日本肝臓学会 市民公開講座

やさしい肝臓病のお話

日時 平成29年7月8日(土)14:00~16:00

場所 ホルトホール大分1階「大ホール」

大分市金池南一丁目5番1号 TEL 097-576-7555

入場無料

希望者には大分県糖尿病療養指導士会による無料血糖値測定を行います

- 一般講演司会 織部 淳哉 先生 (大分大学医学部附属病院 消化器内科)
- 講演1 「環境問題から肥満予防を考える」
大分大学医学部附属病院 内分泌・糖尿病内科 後藤 孔郎 先生 (15分)
 - 講演2 「あなたの肝臓は大丈夫? ~食事面からのケアについて~」
大分大学医学部附属病院 栄養管理室 利根 哲子 先生 (15分)
 - 講演3 「看護師から伝授! 肝臓病&糖尿病の黄色信号のサイン」
大分大学医学部看護学科 実践看護学講座 脇 幸子 先生 (15分)
 - 講演4 「手遅れ肝臓をなくすために たたけ! 肝炎 大分県での取り組み」
大分大学医学部附属病院 消化器内科 本田 浩一 先生 (15分)

特別講演

- 司会 清家 正隆 先生 (大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター)
- 講師 独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 消化器内科
医長 中牟田 誠 先生 (40分)

『元気に長生きするためには肝臓が大事!』
一肝炎治療の最新情報とメタボ時代を生き抜くためのコツー

総合討論

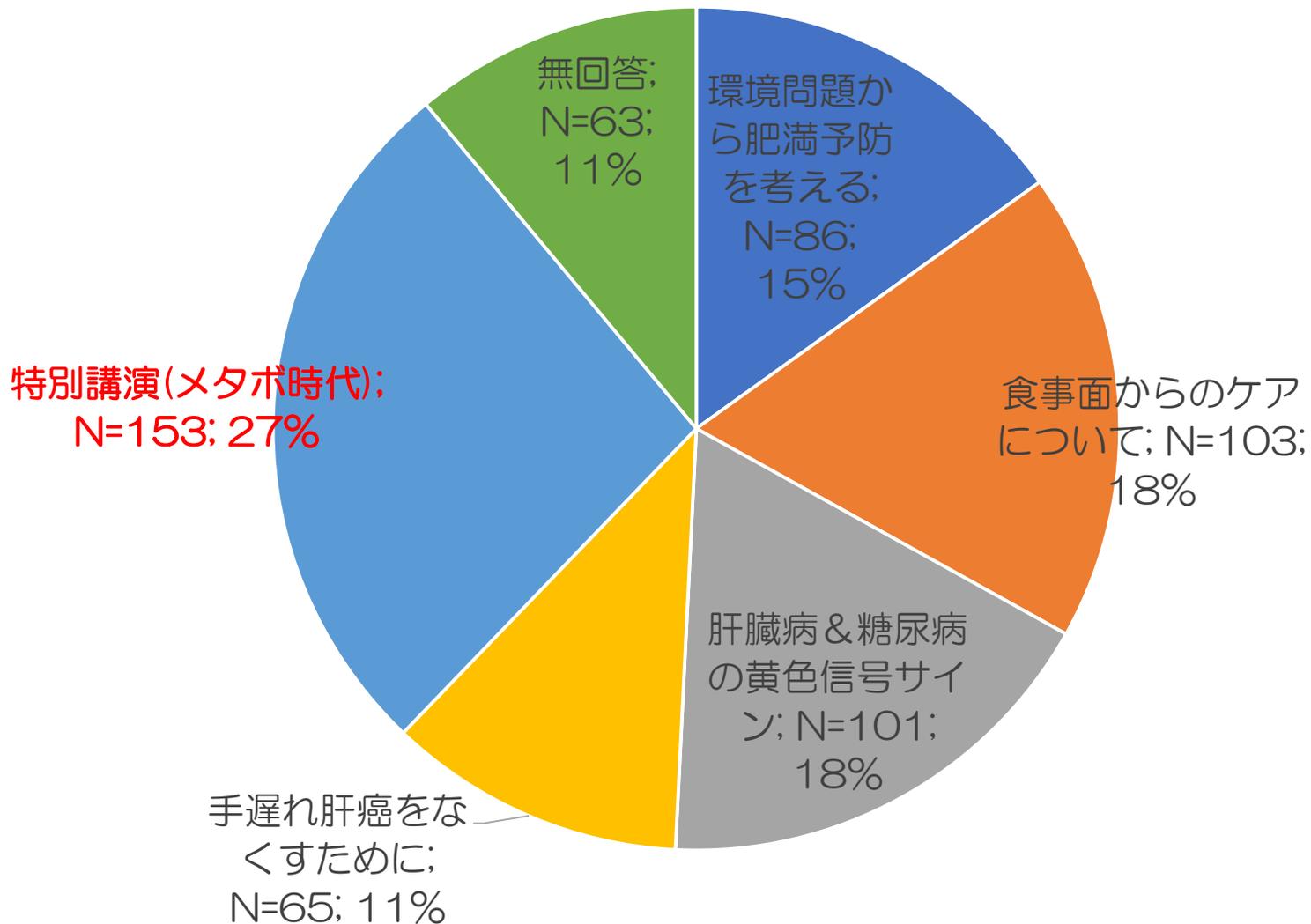
- 司会 清家 正隆
パネリスト
中牟田 誠・後藤 孔郎・本田 浩一・利根 哲子・脇 幸子 先生

共催: 日本肝臓学会 大分大学附属病院(肝疾患診療連携拠点病院)
後援: 大分県 大分市 大分県医師会 大分県薬剤師会 大分県看護協会 大分合同新聞社
※会場の駐車場は数に限りがありますので、ご来場の際は徒歩または電車/バス等の公共交通機関をご利用いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

開催責任者: 織部 淳哉 (大分大学医学部附属病院) ☎097(586)5504 大分大学肝疾患相談センター

日時/会場	講演内容	講師
平成29年7月8日 (土) 14:00~ 大分市 ホルトホール大分 「大ホール」	「環境問題から肥満予防を考 える」	大分大学医学部附属病院 内分泌・糖尿病内科 後藤 孔郎 先生
総合司会: 織部 淳哉 (大分大学医学部附 属病院)	「あなたの肝臓は大丈夫? ~食事面からのケアについて ~」	大分大学医学部附属病院 栄養管理室 利根 哲子 先生
特別講演・総合討論 司会 清家 正隆 先生 (大分大学医学部附 属病院)	「看護師から伝授! 肝臓病& 糖尿病の黄色信号のサイン」	大分大学医学部看護学科 実践看護学講座 准教授 脇 幸子 先生
	「手遅れ肝臓をなくすために たたけ! 肝炎 大分県での取り 組み」	大分大学医学部附属病院 消化器内科 本田 浩一 先生
	「元気に長生きするためには 肝臓が大事! 一肝炎治療の最 新情報とメタボ時代を生き抜 くためのコツー」	九州医療センター 消化器内科医長 中牟田 誠 先生

今日の講演で関心があったことは何ですか (複数)

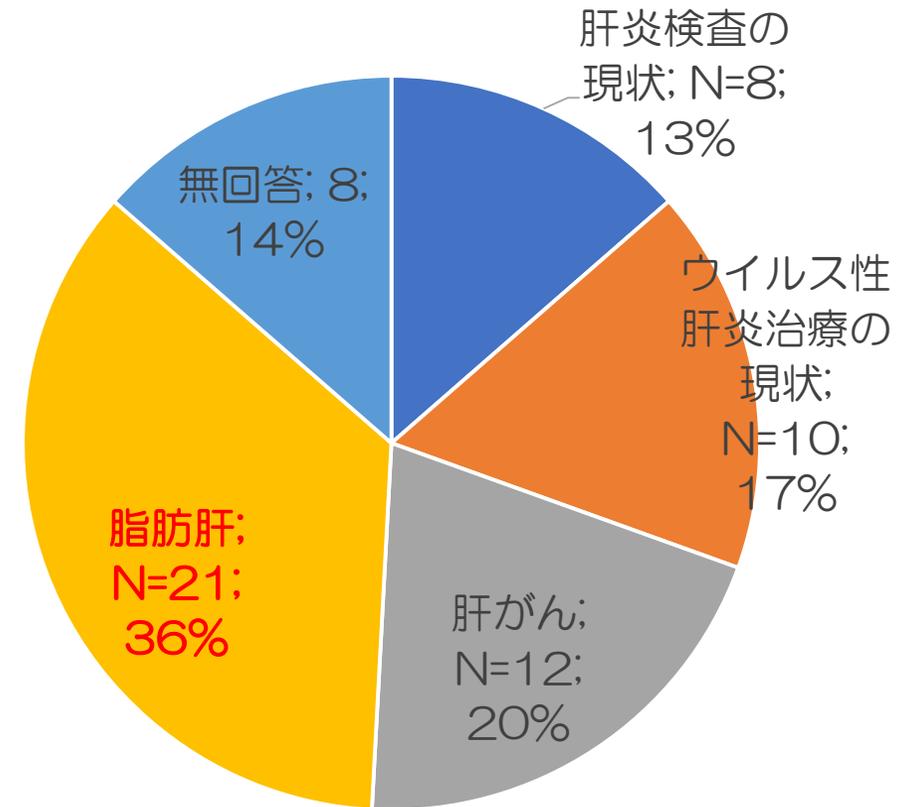




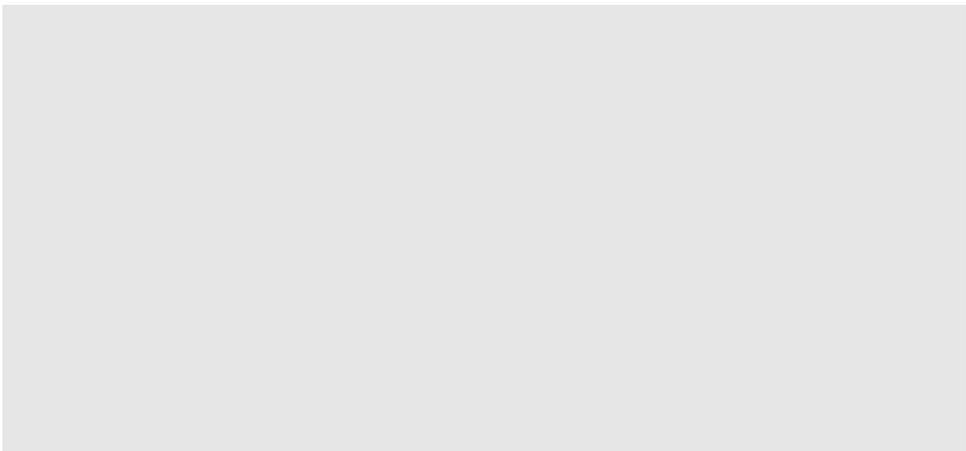
別府市

参加者46名
アンケート回答35名

今日の講演で関心があった
ことは何ですか（複数）



日時／会場	講演内容	講師
平成29年6月24日（土） 14：00～ 別府市 トキハ別府店 「レセプション ルーム」 司会： 酒井 浩徳 先生 （別府医療センター院長）	「大分県厚生連健康管理センターにおける肝炎検査の現状」	大分県厚生連健康管理センター保健事業部長兼保健指導科長 曾我 佳代 先生
	「ウイルス肝炎治療の現状」	鶴見病院 肝臓内科 肝疾患センター長 大河原 均 先生
	「肝がんのお話し」	新別府病院 肝臓内科部長 香川 浩一 先生
	「脂肪肝のお話し」	別府医療センター消化器内科 医長 鶴田 悟 先生

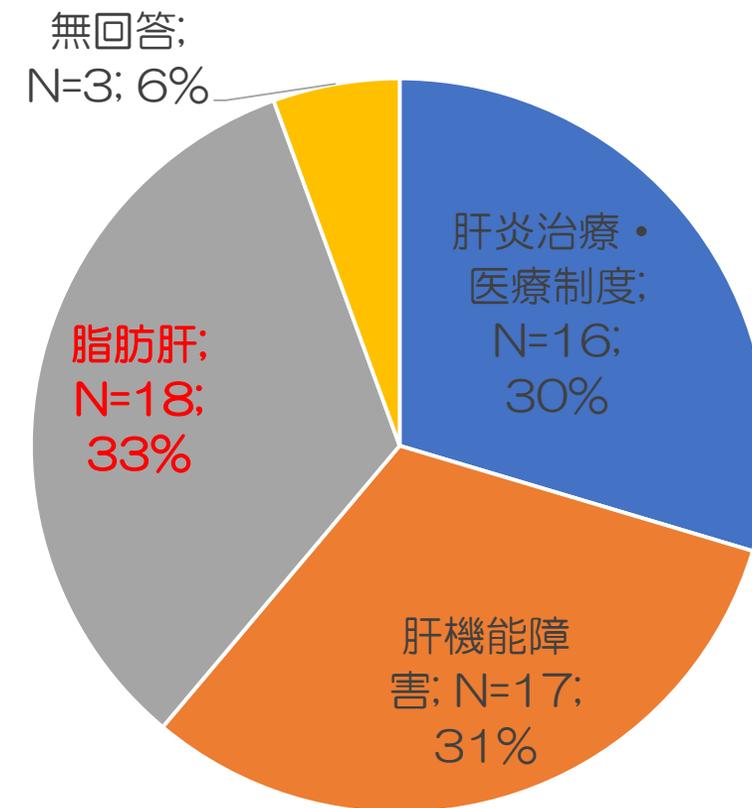


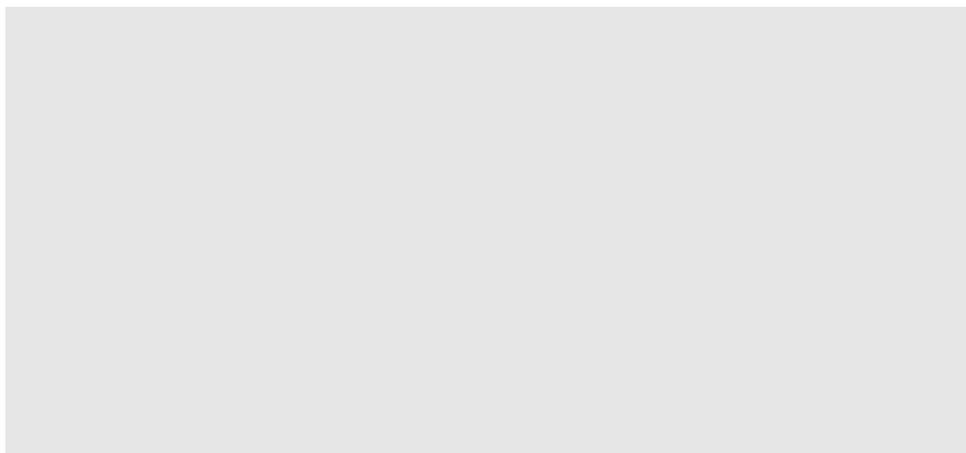
中津市

参加者54名
アンケート回答30名

日時／会場	講演内容	講師
平成29年6月17日（土） 14：30～ 中津市 リル・ドリーム 司会：横田 昌樹 先生 (中津市立中津 市民病院)	「肝炎治療のすすめ ～内服薬による肝炎 治療と医療費助成の 現状～」	宮田内科医院 院長 荻原 健 先生
	「日常生活に潜む肝 機能障害」	中津市立中津市民病 院 消化器内科医長 梅野 成大 先生
	「その脂肪肝、甘く 見てはいけません」	明德会 佐藤第一病 院 消化器内科部長 大森 薫 先生

今日の講演で関心があった
ことは何ですか（複数）





ウイルス肝炎の典型と診断

検査項目	急性肝炎 (胆汁性)		慢性肝炎 (胆汁性)		
	HAV (HBA)	HEV (HBA)	HBV (HBA)	HCV (HBA)	HDV (HBA)
血清ウイルス	+	+	+	+	+
ALT/AST (GPT)	+	+	+	+	+
胆红素	+	+	+	+	+
γ-GT	+	+	+	+	+
AFP	+	+	+	+	+
肝臓	急性肝炎	急性肝炎	慢性肝炎	慢性肝炎	慢性肝炎
治療	対症療法	対症療法	対症療法	対症療法	対症療法
備考	ワクチンあり	ワクチンあり	ワクチンあり	ワクチンあり	ワクチンあり

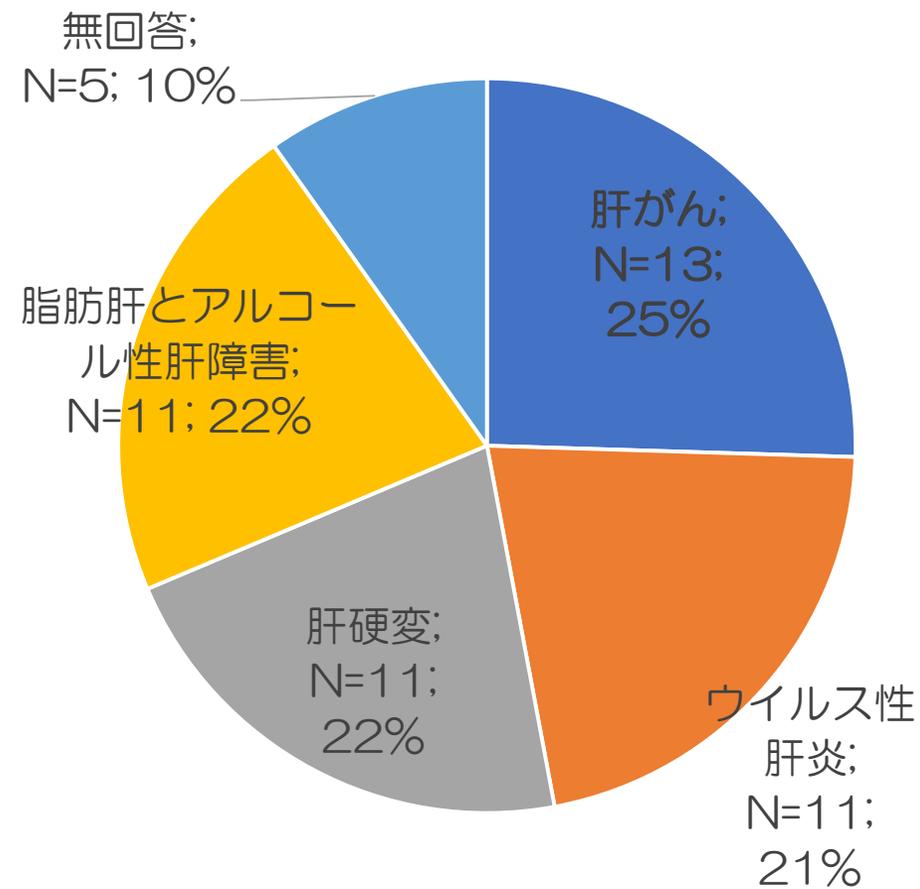
豊後大野市

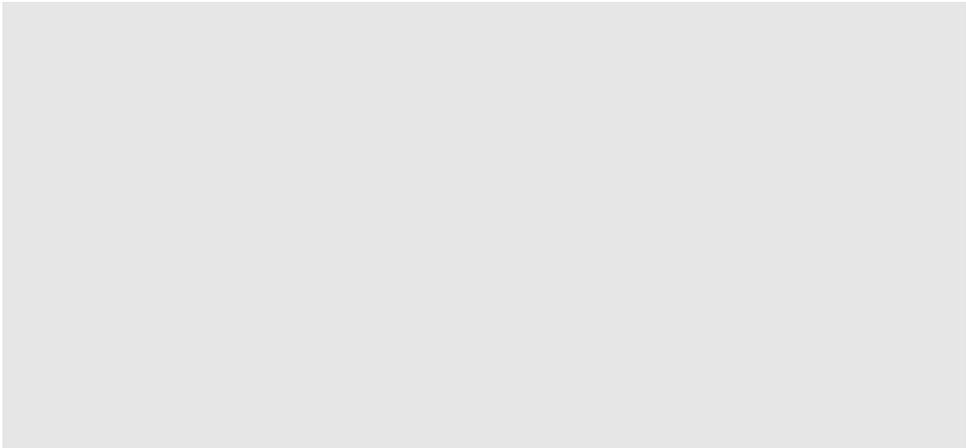
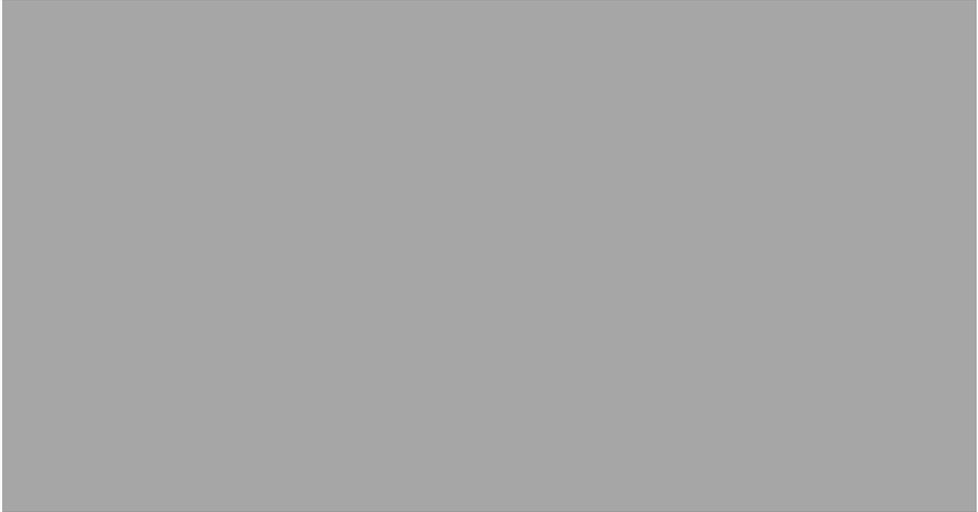
参加者42名

アンケート回答26名

日時／会場	講演内容	講師
平成29年7月15日 (土) 14:00~ 豊後大野市 エイトピアおおの 「会議室」 司会：宇都宮 健志 先生 (三重東クリニック)	「肝臓がんについて」	帰巖会 みえ病院 院長 消化器内科 松山 幸弘 先生
	「ウイルス性肝炎のお話」	豊後大野市民病院 消化器内科部長 棚橋 仁 先生
	「肝硬変治療の進歩」	大分県立病院 消化器内科副部長 西村 大介 先生
	「脂肪肝とアルコール性肝障害について」	大分医療センター 消化器内科第二部長 山下 勉 先生

今日の講演で関心があったことは何ですか（複数）



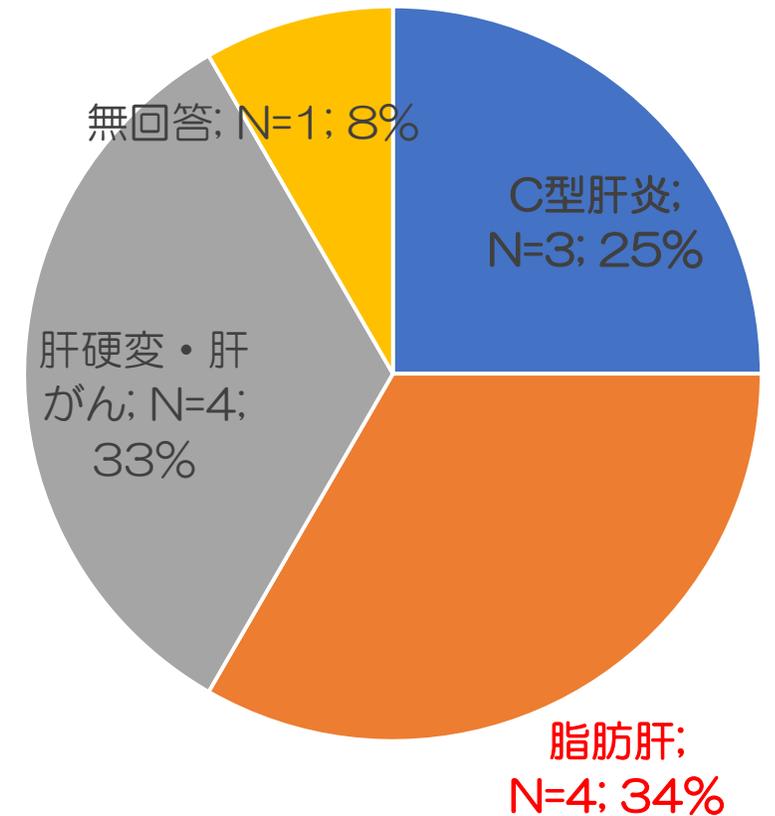


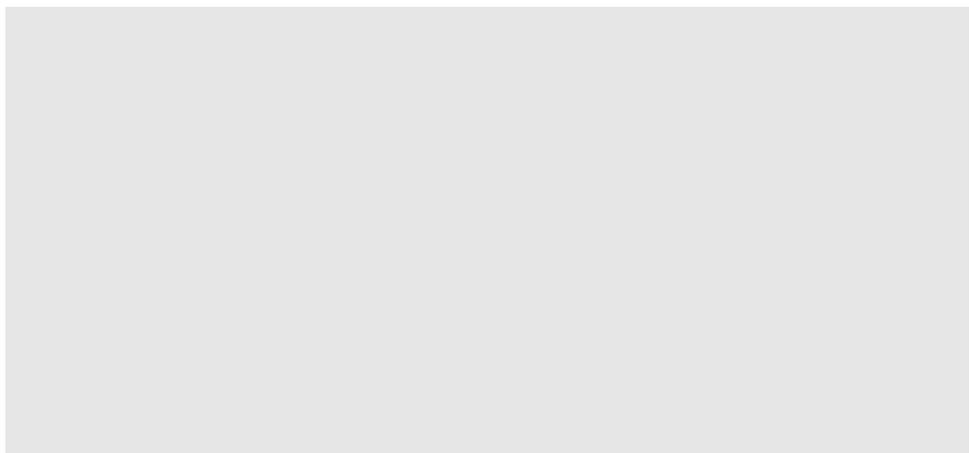
玖珠町

参加者20名
アンケート回答11名

日時／会場	講演内容	講師
平成29年8月5日（土） 14：00～ 玖珠町 メルサンホール 「視聴覚室」 司会：麻生 隆良 先生 (麻生消化器科内科)	「今こそ治そう！ C型肝炎」	大分大学医学部附属 病院 消化器内科 遠藤 美月 先生
	「放置してはいけない 脂肪肝の話」	大分赤十字病院 肝胆膵内科部長 成田 竜一 先生
	「肝硬変、肝がん、 まだあきらめないで」	大分大学医学部附属 病院 消化器内科 織部 淳哉

今日の講演で関心があったことは何ですか（複数）

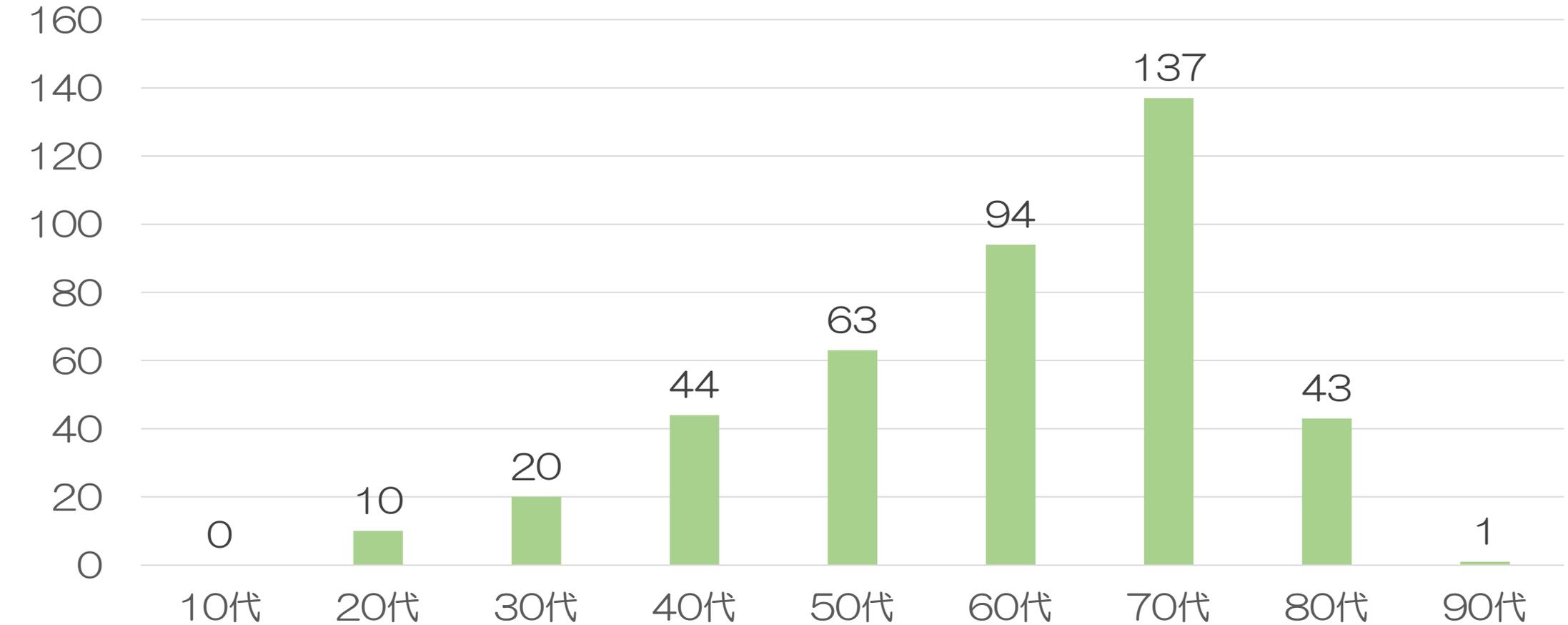




全参加者の年齢分布

N=375

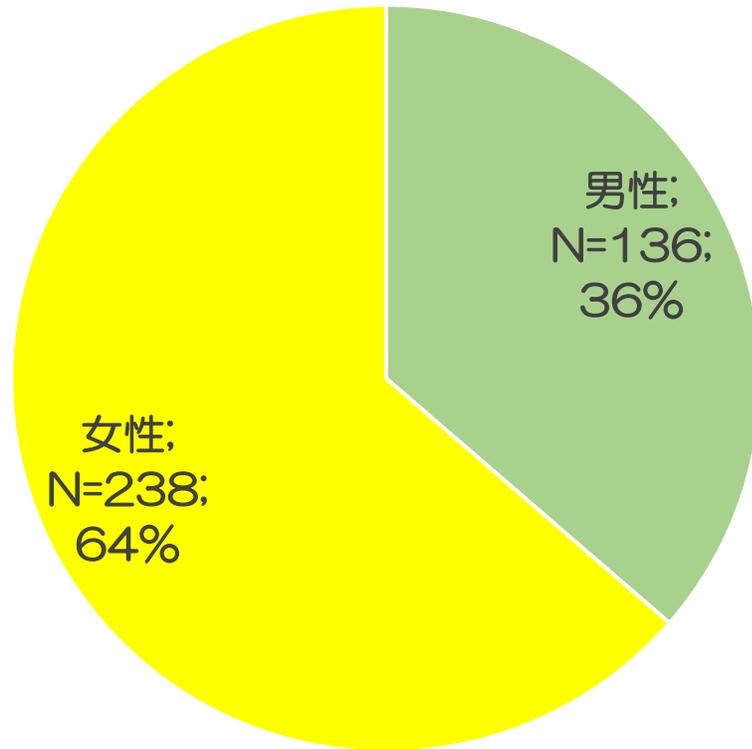
(人)



☆ 70歳代が最多で80歳代も比較的多かった。講演の内容をわかりやすくするために文字のサイズやスライドの枚数に注意が必要と思われる。

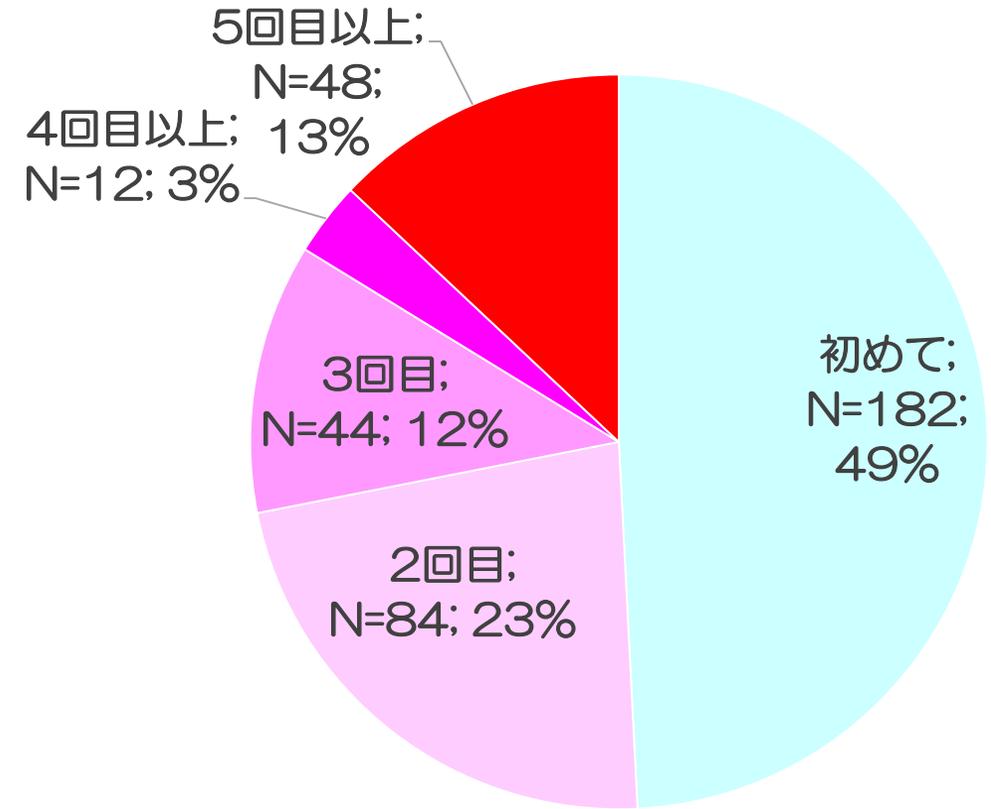
性別

N=374



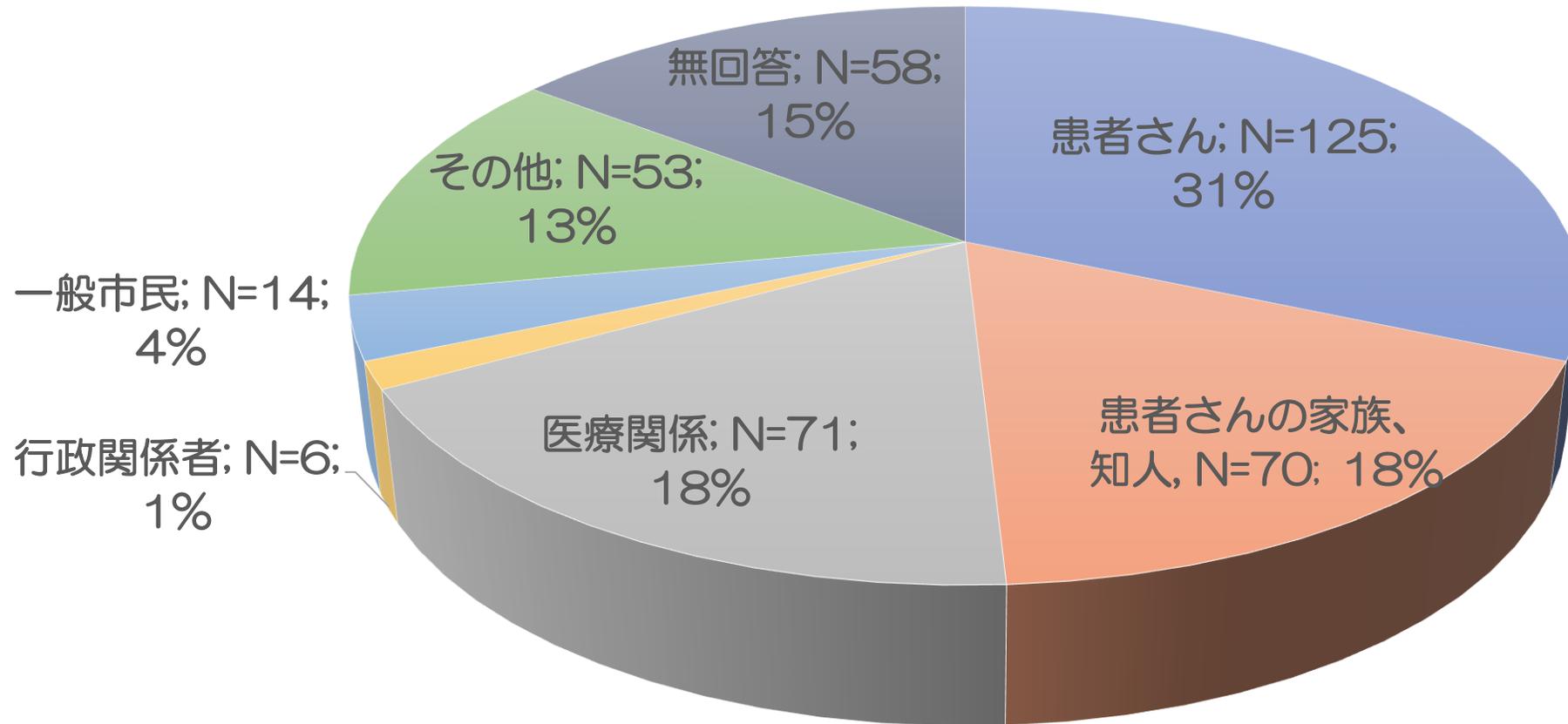
参加回数の分布

N=370

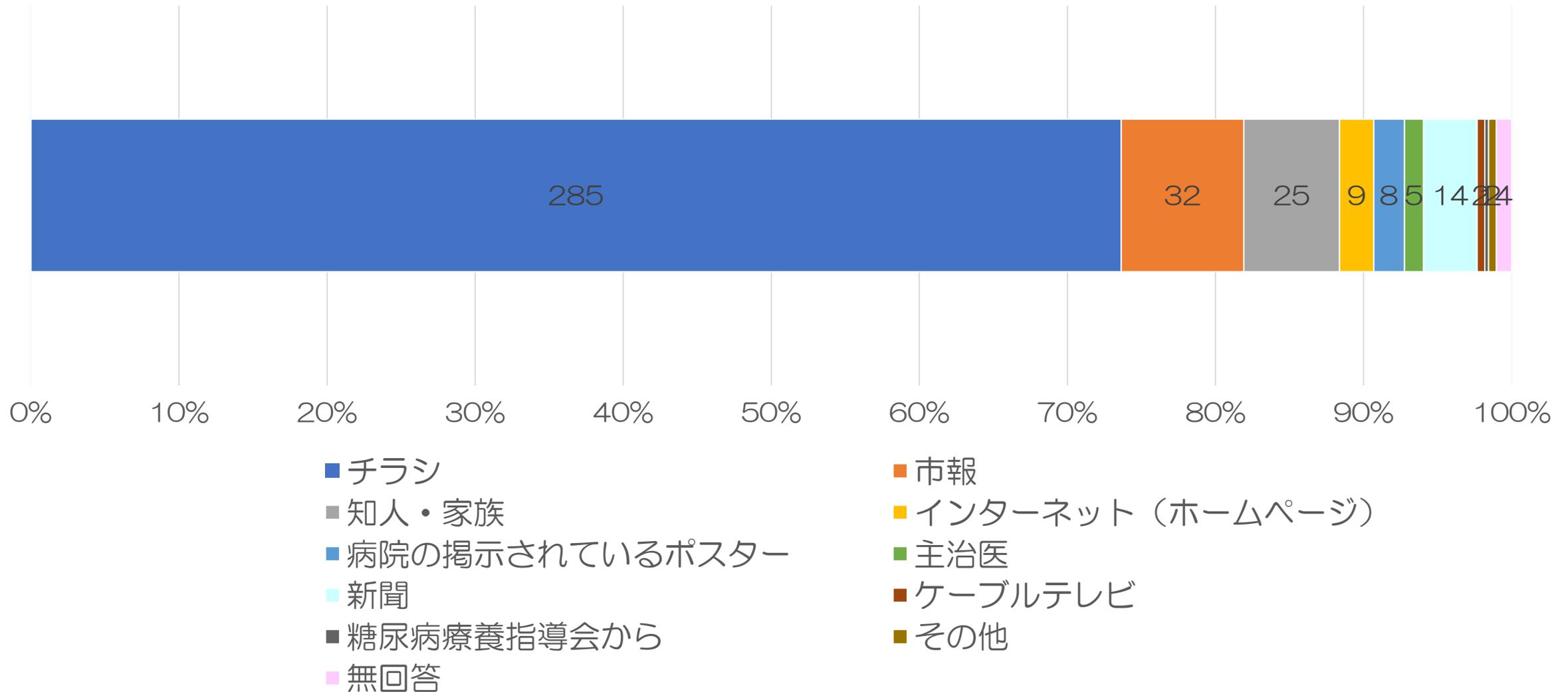


☆ 女性の参加が多かった。参加が初めての方は半分程度。肝疾患患者の掘り起こしのためには初回参加者がもっと増えることが望ましい。

参加者の内訳（複数回答）



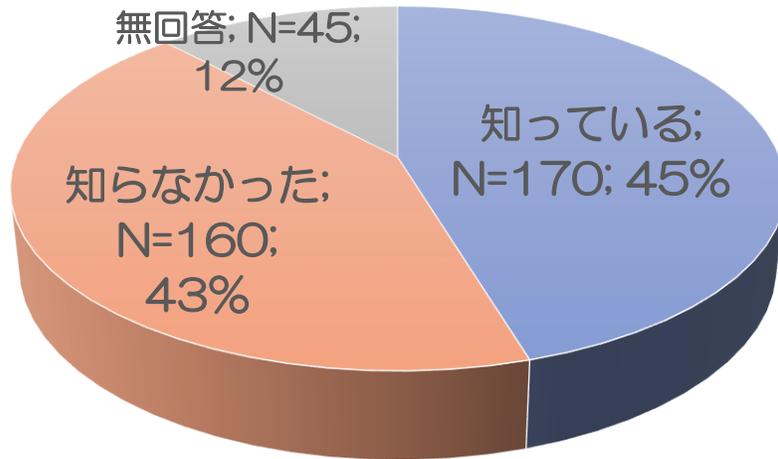
市民公開講座を知ったきっかけは何ですか（複数）



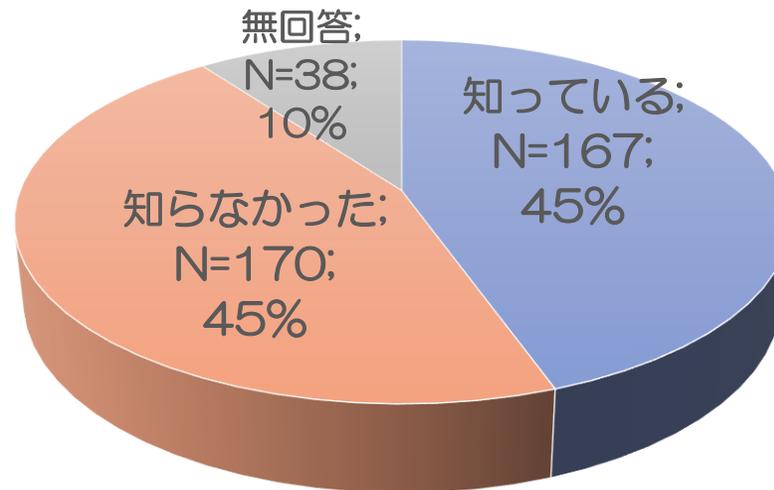
★ 市民公開講座の情報はチラシが最も多く、次に市報が多かった。参加を促すには有効な手段で継続が必要。

肝炎関連アンケートの集計結果

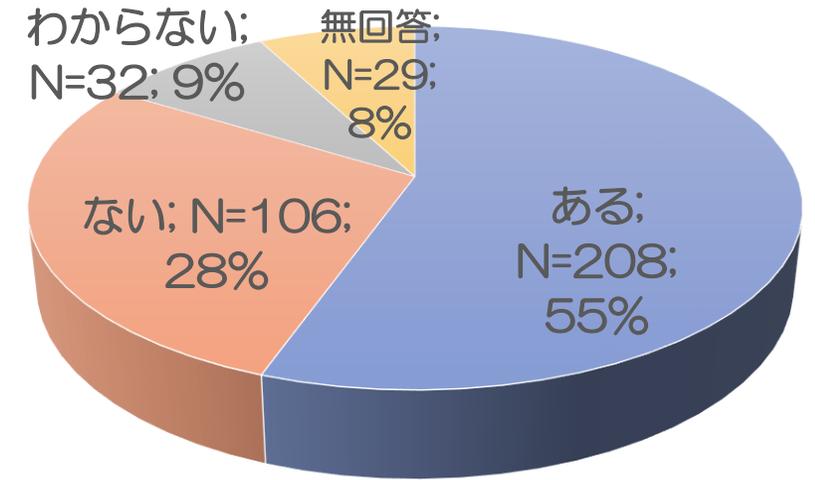
肝炎の医療費助成について
知っていますか



肝炎の無料検査について
知っていますか



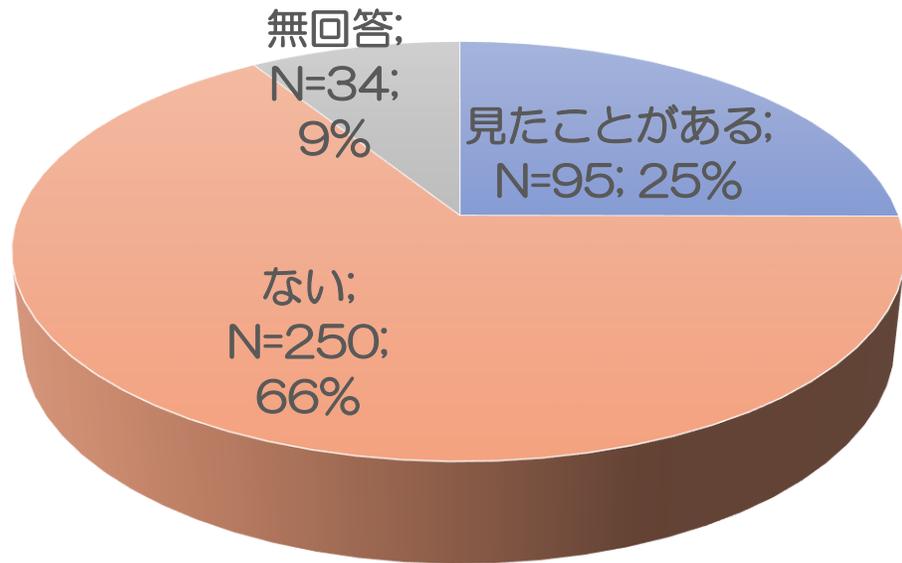
肝炎ウイルス検査を受けたこと
がありますか



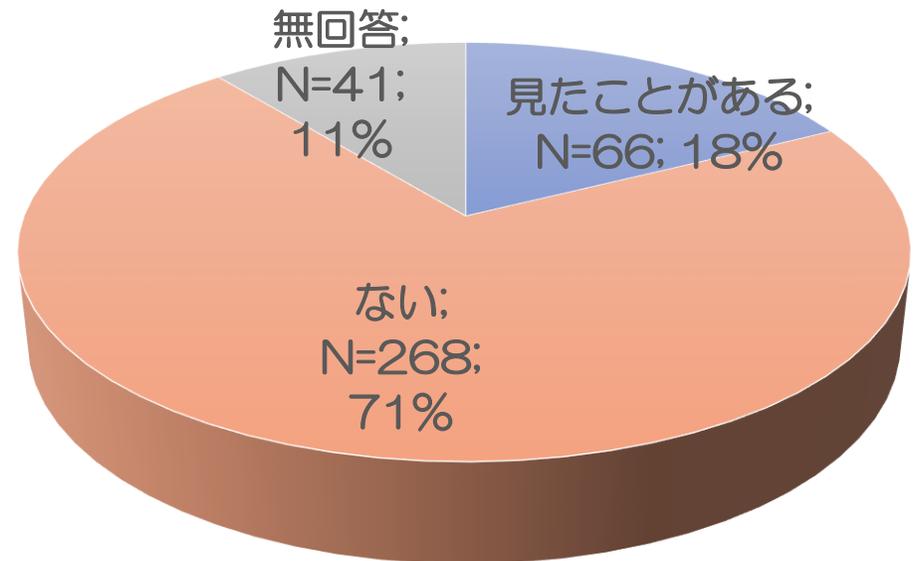
☆ 肝炎の医療費助成や無料検査の知識がある人は半数に満たなかった。
肝炎ウイルスの検査を受けた人はそれより多かったものの、未検査や自分が受けたかわからない人も40%弱を占めていた。今回の公開講座で肝炎検査を知ってもらえたと考える。

肝炎関連アンケートの集計結果

「肝炎シール」を見たことがありますか

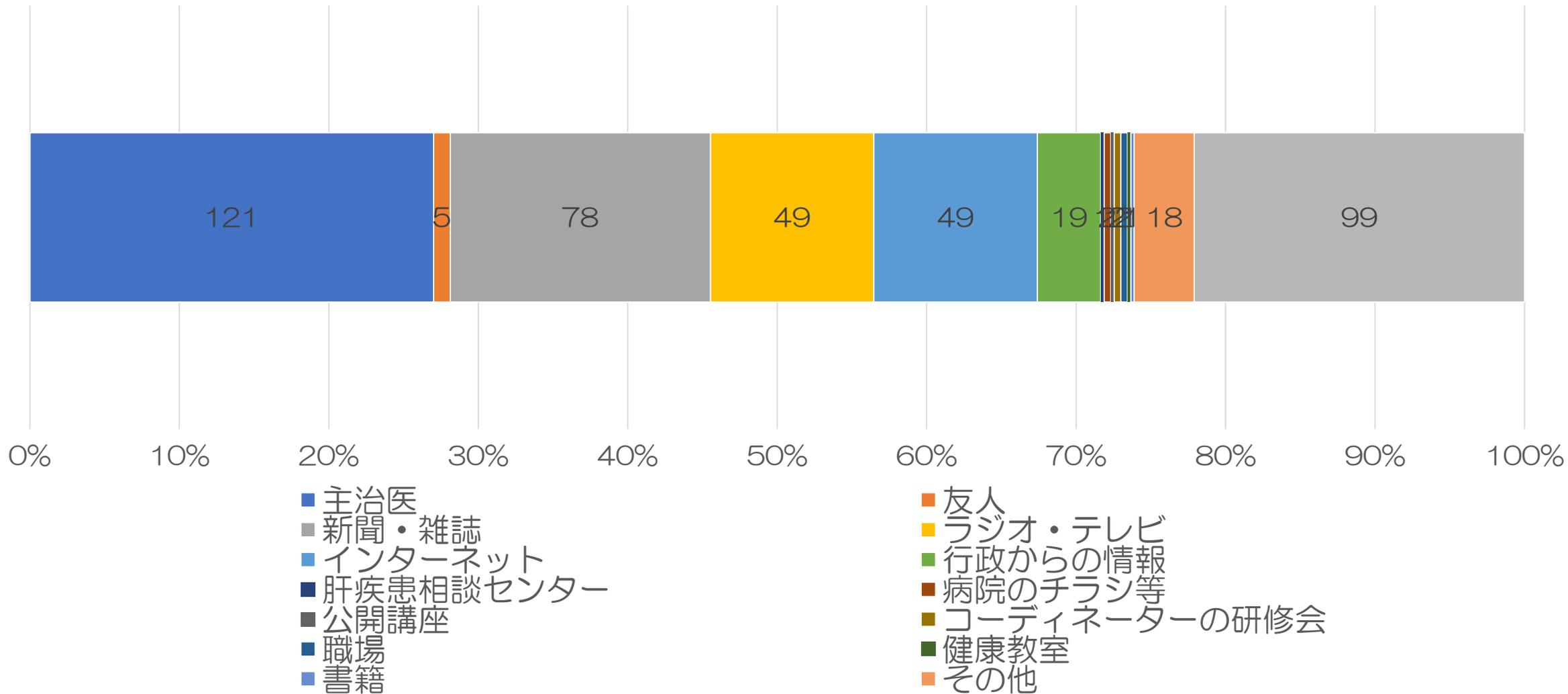


「リーフレット」を見たことがありますか



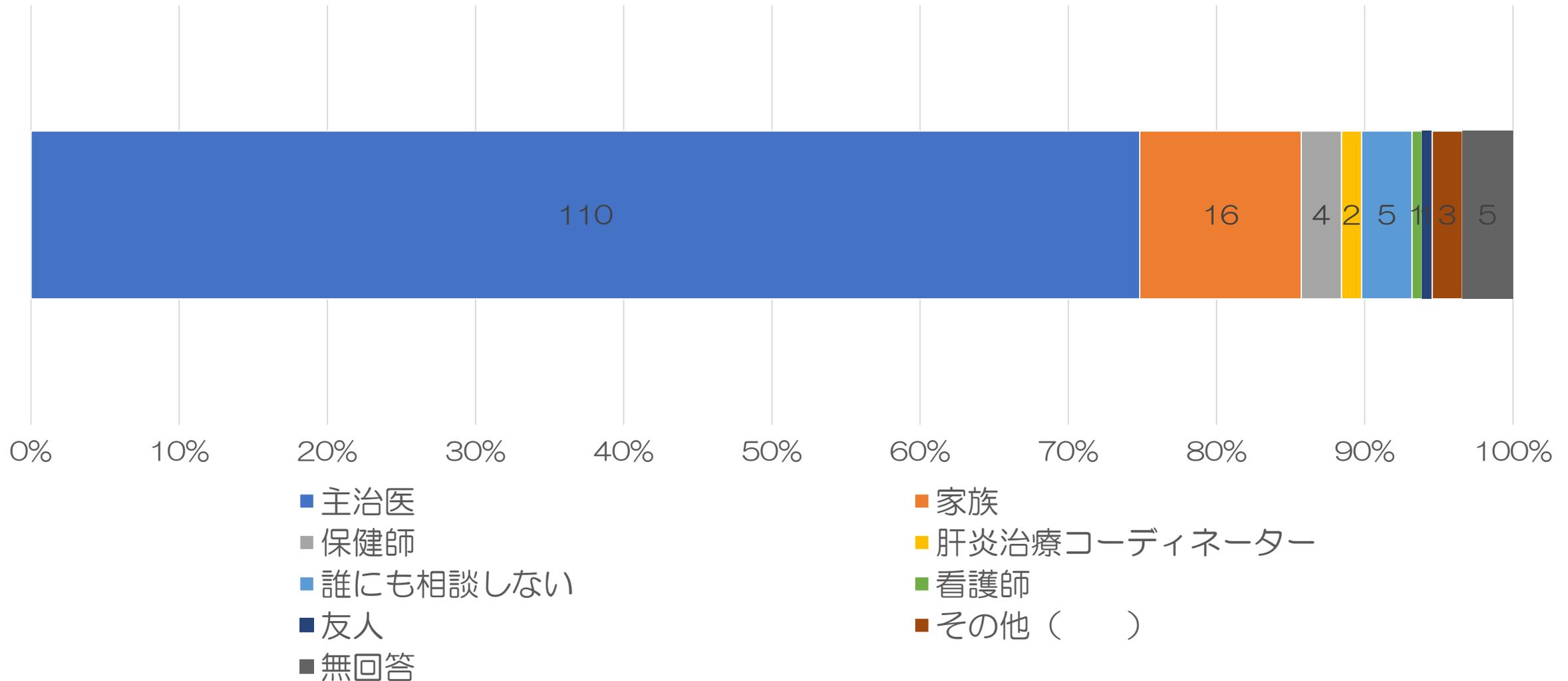
☆ 肝炎シールもリーフレットも「見たことがある」と答えた人は少なかった。「見たことがある」人の割合と、公開講座参加者の内訳での医療関係者の割合が同程度で医療関係者に「見たことがある」と答えた人が多かった可能性がある。

肝炎治療の情報をどのように得ていますか？



★ 肝炎治療の情報は主治医が最も多く、次に新聞、テレビやインターネットが多かった。製薬会社の広告によるところも大きいと思われる。

患者さんへ→病気について誰に相談していますか？（複数）



★ 病気の相談は主治医が最も多く、次に家族が多かった。肝炎治療コーディネーターは2名だった。

まとめ

- ✓大分県内5か所で肝臓病市民公開講座を開催した。
- ✓参加者の最も関心の高かった講座内容は脂肪肝関連だった。
- ✓参加者のうち60歳以上は274名で60歳未満は101名だった。医療関係の参加が71名だったので一般参加者はほとんど高齢だったと考えられる。
- ✓肝炎検査についての認知度はやや高い印象だったが、肝炎シールやリーフレットの認知度は低かった。
- ✓肝炎の治療の情報や病気の相談をする対象は主治医が多かった。診療中には十分に説明をする時間を確保できない場合がほとんどと考えられ、そこにコーディネーターの役割があると考えられた。